

研修会報告

平成 30 年 6 月 13 日

文責：仙台厚生病院 諸橋 彰

研修会テーマ 平成29年度病理組織検査精度管理フォローアップ研修会

開催日時 平成 30 年 6 月 9 日（土）14：00～17：30

会場 東北大学病院 臨床中講堂

司会：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

講演 1 「平成 29 年度病理組織検査精度管理調査 報告・検討」

座長：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

講師：宮城県対がん協会がん検診センター 検査課 佐藤 しげみ技師

仙台厚生病院 臨床検査センター 病理診断科 諸橋 彰技師

「平成 29 年度病理組織検査精度管理調査 報告・検討」

講師：仙台厚生病院 臨床検査センター 病理診断科 部長 赤平 純一先生

講演 2 「認定病理検査技師の資格更新について」

座長：東北医科薬科大学病院 佐藤 正樹

講師：石巻赤十字病院 病理部 菅原 勲技師

講演 3 「肺がん診断のトピックス」

座長：仙台厚生病院 臨床検査センター 病理診断科 諸橋 彰技師

講師：仙台厚生病院 臨床検査センター 病理診断科 部長 赤平 純一先生

生涯教育点数 基礎 20 点

参加者 会員参加者 21 名 実務委員（講師含む）5 名 計 26 名

内容

【講演 1】

「平成 29 年度病理組織検査精度管理調査」の報告を諸橋 技師が行った。

評価時問題となった「膠原線維と細網線維の染め分けとコントラスト」を検討したのち、該当施設に再染色を依頼した。その検討結果及び再染色結果及び鍍銀染色をきれいに染めるためのポイントを報告した。

- 1、再染色施設 A：染色液の希釈倍率を変更し、何とか観察可能な標本になった。
- 2、再染色施設 B：使用期限がきれた染色液を使用してしまっていた。新しい染色液を購入し染め直したところ、きれいに染色されコントラストが改善された。

3. 鍍銀染色を行う上で注意しなければいけないポイントとして
酸化処理、切片の洗浄方法を比較検討した。

「平成 29 年度病理組織検査精度管理調査アンケート」「鍍銀染色の歴史」として佐藤技師より報告。

各施設で実施している染色・実施していない染色について結果報告していただいた。やはり各施設でバラつきがあり今後の染色サーベイを行う上で、非常に有用であった。また、鍍銀染色の歴史、変法などにおける染色方法の違いを講義していただいた。

【講演 2】「認定病理検査技師の資格更新について」 菅原 勲技師より講演。た

認定病理検査技師の資格更新の仕方、職務、今後の展望などについて分かり易く講演いただいた。まだ資格を取得していない人には大変ためになったと思われる。

【講演 3】

「肺がん診断のトピックス」ということで仙台厚生病院 臨床検査センター病理診断・臨床検査科部長赤平 純一先生よりご講演いただいた。

近年、肺癌治療は劇的に変化し、それに伴い肺がん診断も変化してきている。

そこで今回はWHO分類2015に沿った肺癌診断を詳細に解説して頂いた。

また、現在主流の分子標的治療、免疫チェックポイント阻害薬治療および今後期待されるキメラ抗原受容体T細胞療法、光免疫療法など最新の治療法についても解説していただいた。

文責： 仙台厚生病院 諸橋 彰